

# 会社概要/株式の状況 (2021年6月30日現在)

## Corporate Profile / Stock Information

### 会社概要

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E. E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	<b>HIOKI</b>
資本金	32億9,946万円
社員数	993名(HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場	長野県上田市小泉81
グループ会社	日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)測量技術有限公司 日置(上海)科技發展有限公司 HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. PT. HIOKI ELECTRIC INSTRUMENT HIOKI KOREA CO.,LTD. HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED HIOKI EUROPE GmbH 台湾日置電機股份有限公司

### 役員

取締役		<b>監査役</b>	
代表取締役社長	岡 澤 尊 宏	常勤監査役	竹 内 繁 弘
取締役	美 山 芳 計	常勤監査役	高 木 正 行
取締役	久保田 訓 久	社外監査役	小 川 直 樹
取締役	鷹 野 保 直	社外監査役	弓 場 法 夫
社外取締役	田 中 茂 夫		
社外取締役	大 辻 純 夫		

### 株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	7,004名

### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日(中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="https://www.hioki.co.jp/jp/ir/">https://www.hioki.co.jp/jp/ir/</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード 6866)

## 株主の皆様のお声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトからご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

☑️ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

 <https://www.e-kabunushi.com/>  
アクセスコード **6866**

いいかぶ

 空メールにより kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) URL自動返信 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 スマートフォンからもアクセスできます 右のQRコードをカメラで読み取れば、スマートフォンからもアクセスできます。  
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(1809)  
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。  
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL: info@e-kabunushi.com



本社 / 〒386-1192 長野県上田市小泉81  
TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



※本中間報告書で使用している会社名および製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

株主の皆様へ

# 「測る」の先へ

ビジョン2030

HIOKIは業界のフロントランナーとして

「測る」を進化させ続け

世界のお客様と共に持続可能な社会をつくる

ソリューションクリエイターを目指します

## 第70期 中間報告書

2021年1月1日>>2021年6月30日

# HIOKI

### 目次

株主の皆様へ	P1
決算ハイライト	P2
サステナビリティへの取り組み	P3
トピックス	P4
連結財務情報	P5
シリーズ働き方改革	P6
会社概要/株式の状況 裏表紙	

## 日置電機株式会社

証券コード:6866

裏表紙のアンケートにご協力ください

## 株主の皆様へ To Our Shareholders

HIOKI Innovation Center

### 「ビジョン2030」の達成に向け 中長期での成長を見据え 今後も邁進してまいります

2021年8月  
代表取締役社長  
**岡澤 尊宏**  
Takahiro Okazawa

このたび、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々、ご家族、および関係者の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている医療関係者をはじめ多くの皆様に心より感謝申し上げます。

当期より、長期経営方針として「ビジョン2030」を掲げ、HIOKIグループ一体となり実現に向けて取り組みを進めております。私たちHIOKIのミッション（社会的価値）を、「電気計測を通してお客様の安全で有効なエネルギー活用を促進し、社会の安心と発展に貢献すること」と定め、このミッションを果たすためのビジョン（10年後のありたい姿）を「『測る』の先へ。HIOKIは、業界のフロントランナーとして『測る』を進化させ続け、世界のお客様と共に持続可能な社会をつくるソリューションクリエイターになる」といたしました。この「ビジョン2030」の策定は、2019年に社内プロジェクトを立ち上げ、今起きている事実から未来を予測し備えることから始めました。その中で、当社の事業を取り巻く外部環境変化として、環境問題とエネルギーの変化に着目し、具体的方針へと展開いたしました。翌2020年に「ビジョン2030」の考え方をグ

ループ全社員に展開。その後、経営計画を策定し、当期より実現に向けた取り組みを開始しております。長期のビジョンを策定したのは今回が初めてですが、10年後のありたい姿をグループ全体で共有したこと、また、このビジョンに多くの共感を得ることができたことに何よりも手ごたえを感じております。

すでに、私たちがビジョン策定時に想定していたよりも外部環境変化の速度は速く、脱炭素、カーボンニュートラル等々の関連したワードを聞かない日がないほど、全世界で大きな変革が起きています。社会の変化、ニーズに対応するためにも、私どもHIOKIが、長年培ってまいりました電気計測ソリューションのノウハウをさらに進化させ続け、お客様と共に持続可能な社会の実現を目指し、「ビジョン2030」の達成に向け、中長期での成長を見据え、今後も邁進してまいります。

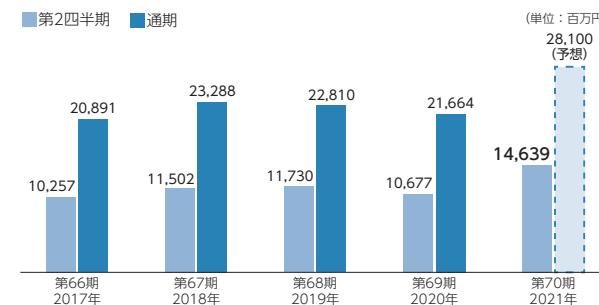
また、モノづくりを社業としている私たち自身も、モノづくりの活動におけるゼロエミッションの取り組みを継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

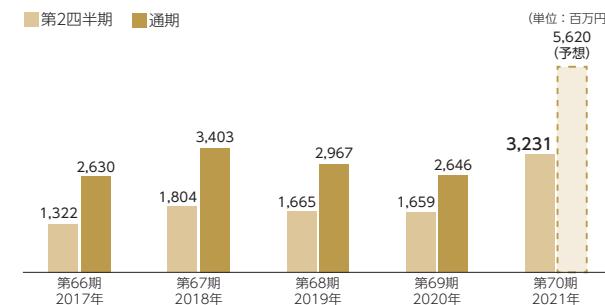
## 決算ハイライト Financial Highlights

- Point**
- 脱炭素に向けた世界各国の取り組みを受け、設備投資が急速に回復。また、在宅勤務やWeb会議の普及によるデータセンターの投資も進み、関連計測器の需要が高まり、売上高が伸長。
  - 売上高の伸長に加え、営業活動の制限による経費発生の抑制により、営業利益、経常利益ともに前年同期を上回る結果に。
  - 株式上場30周年を迎え、株主の皆様のご支援に心から感謝し、期末配当において1株につき30円の記念配当を実施予定。

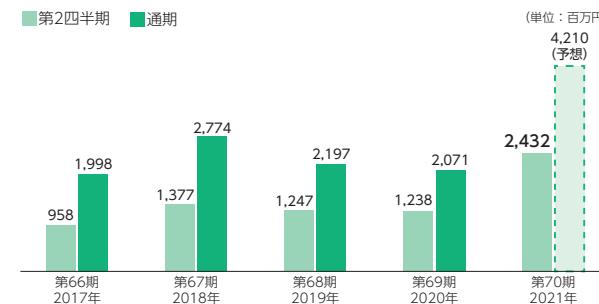
### 売上高



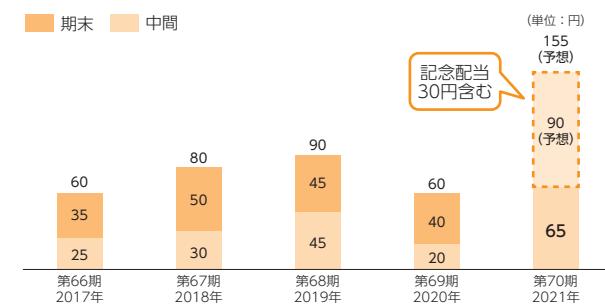
### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たりの配当金



### 2021年12月期 連結業績予想 (2021年7月修正)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
28,100 百万円	5,420 百万円	5,620 百万円	4,210 百万円
前期比 29.7%増	前期比 119.4%増	前期比 112.4%増	前期比 103.2%増

本中間報告書に記載の金額は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。

## サステナビリティへの取り組み

当社は企業理念の一つに「社会への貢献」を掲げており、積極的な環境保全に取り組むとともに、地域の教育・文化に資する活動を展開してきました。当期から、経営指針の一つに「持続可能な社会の実現に貢献」を掲げました。一人ひとりが徹底した環境負荷低減に努めるとともに、社業である電気計測ソリューションをより広く世界に展開し、顧客価値を創造し続けることでその貢献度を高めるべく、活動を推進していきます。

### 地域の森林づくりを支援

2月1日、公益財団法人HIOKI奨学・緑化基金<sup>\*1</sup>と上小森林認証協議会が、長野県の「森林（もり）の里親促進事業」に基づく協定の調印式を行いました。当財団はこれまでも「ふるさとの森づくり」を通して地域の環境保全に取り組んできましたが、本調印により上田管内のSGEC認証森林<sup>\*2</sup>を対象に、苗木の寄贈、森林整備などを行い、持続可能な森林づくりに協力していきます。

※1. 2005年にHIOKIが基金を拠出して設立。長野県内出身の理系大学生および大学院生への奨学金給付と植樹支援事業を行っています。

※2. SGEC(Sustainable Green Ecosystem Council)の頭文字。SGEC認証森林は、国際的な基準を用いて持続可能な森林経営を行っているとして認証された森林です。



### 本社工場の電力を100%再生可能エネルギーに切り替え

4月1日から、本社工場で使用する電力のすべてを、水力発電によるCO<sub>2</sub>フリー電力<sup>\*</sup>に切り替えました。これにより、本社工場の電力は実質的に再生可能エネルギー100%に切り替わり、電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量は0（ゼロ）となります。本社工場で1年間に使用する電力約5,500MWh分のCO<sub>2</sub>、おおよそ2,300トンが削減されます（2020年実績）。

※中部電力ミライズ株式会社様が調達した電気に、水力発電に由来する環境価値を活用することで、実質的に再生可能エネルギー100%とした電気の供給を実現しています。



### 日常を“Earth Day（アースデイ）”に

4月22日はアースデイ。1970年にアメリカの上院議員ネルソン氏によって提唱され、「地球のことを考え、自然環境に感謝する日」とされています。地球や環境について思い、行動することは、アースデイだけでなくいつでも始められます。そんな思いから、HIOKI発のメッセージ動画を作成しました。地球環境のために一人ひとりができることを、共に実践しませんか。



動画はこちら

## トピックス

Topics

01  
TOPICS

### 電池の品質検査・メンテナンスをもっと簡単、スピーディーに ますます拡大するバッテリー市場へリニューアルした新製品を投入

現在、電池はあらゆるシーンで活躍し、大型蓄電池やEV（電気自動車）、スマートウォッチなど様々なイノベーションと新しい生活スタイルを生み出す原動力となっています。今後ますます拡大するとみられるバッテリー市場に向けて、リニューアルした「バッテリーハイテスタBT3561A、BT3562A、BT3563A（生産・検査用）」「バッテリーテスタBT3554-50（メンテナンス用）」を2月に発売しました。

これからも、持続可能な社会の実現のために必要とされる高品質で安全な電池の開発・生産・メンテナンスを支える電気計測ソリューションを提供し、市場の成長に貢献します。

世界のリチウムイオン電池の品質検査をリード

バッテリーハイテスタBT3563A  
性能強化で自動検査を高速化し、生産ラインの停止時間低減により生産性を向上

1996年の発売以来メンテナンス市場で大活躍

バッテリーテスタBT3554-50  
新機能「測定記録音声ガイド」でビルや工場のUPS（無停電電源装置）や鉛蓄電池の劣化診断を効率化

02  
TOPICS

### 国内初！直流電力測定のJCSS認定を取得 電力計と電流センサーの組み合わせ校正 で活用範囲を拡大

1月29日付けで国内初となる直流電力測定装置のJCSS認定を取得しました。

JCSSは、国際規格「ISO/IEC17025」の要求事項に基づき、校正を実施する技術能力を校正事業者が持っていることを登録・認定する制度です。

今後もJCSS校正の認定事業者として、国際基準に基づいたワンランク上の校正サービスをお客様へ提供していきます。

JCSS校正の対象に追加された  
直流電力測定装置



JCSSについては  
こちら

03  
TOPICS

### 国際的に権威あるデザイン賞 「iFデザインアワード2021」を受賞

貫通型電流センサー「AC/DCカレントセンサCT6877」、小型タイプの交流漏れ電流計「ACリーククランプメータCM4001シリーズ」が、「iFデザインアワード2021」を受賞しました。2016年の初受賞から3回目・5製品（シリーズ製品3つを含む）となります。同賞は外観だけでなく革新性や環境への配慮など様々な観点で審査されており、当社のモノ・コトづくりへの誠実な姿勢が評価されたものと考えます。

※iFデザインアワード：ドイツのハノーバーを本拠地とする、世界で最も長い歴史を持つ独立したデザイン団体「iF International Forum Design」が主催するデザイン賞。

iFデザインアワード2021受賞製品

iFロゴマーク

## 連結財務情報

Consolidated Financial Statements

### 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	18,255	21,453
固定資産	12,185	12,038
有形固定資産	10,520	10,323
無形固定資産	346	372
投資その他の資産	1,317	1,343
資産合計	30,440	33,491
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,013	3,978
固定負債	1,414	1,341
負債合計	4,427	5,320
<b>純資産の部</b>		
株主資本	26,203	28,122
その他の包括利益累計額	△190	48
純資産合計	26,012	28,171
負債純資産合計	30,440	33,491

### 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2021年1月1日から 2021年6月30日まで)
売上高	10,677	14,639
売上原価	5,853	7,614
売上総利益	4,823	7,025
販売費及び一般管理費	3,232	3,892
営業利益	1,590	3,133
経常利益	1,659	3,231
税金等調整前四半期純利益	1,656	3,233
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,238	2,432

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2021年1月1日から 2021年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,671	1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△612	△545
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	640	745
現金及び現金同等物の期首残高	9,223	11,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,864	12,288

## 第69期定時株主総会開催

2月25日(木)、日置電機(株)本社において開催し、すべての議案が可決されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、株主の皆様には事前のインターネットによる議決権行使や当日のご来場をお控えいただくなど、運営にご協力をいただきました。

株主総会と会社近況報告の様子はWebサイトでご覧いただけます。



株主総会動画は  
こちら

## 新型コロナウイルスワクチンの 職域接種を実施

日置電機(株)本社において、ワクチン接種を希望する本社勤務の社員とその配偶者、協力会社の社員を対象に職域接種を行いました。



ワクチン接種を受ける社員

## シリーズ 働き方改革④

### GPTWベストカンパニーに初選出

—「働きがい」のさらなる向上に取り組む—

Great Place to Work® Institute Japan (以下GPTW) が主催する2021年版日本における「働きがいのある会社」ランキングにおいて、中規模部門(従業員数100~999人)のベストカンパニー65社に選出されました。社員一人ひとりが自分の仕事の意味や「ビジョン2030」とのつながりを考え、CEOとしてオーナーシップを持ち行動する文化が「働きがい」の向上につながっています。今後も、社員が高いパフォーマンスと新たな連携を生み出す環境づくりを支援し、働きやすさ+やりがい=「働きがい」を感じることができるよう、さらなる向上を図っていきます。

GPTWが主催する「イノベーション」をテーマとしたセミナーに当社代表取締役社長の岡澤尊宏が登壇し、企業理念である「人間性の尊重」をベースとした「働きがい」を高める組織・風土づくり、イノベーションの創出を促進する取り組みについて、製造業としての立場から講演を行いました。

講演抄録はこちら  
※GPTW公式ホームページに飛びます



全社員がCEOとしてオーナーシップを持って行動



GPTWロゴマーク



受賞盾

## 最高段階の「えるぼし認定」を取得 —女性活躍推進企業として認定—

2020年9月、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍推進に関する取り組みの実施が優良と認められる企業として、厚生労働大臣より最高段階(3段階目)の「えるぼし認定」を受けました。「えるぼし認定」とは、①採用、②継続就業、③労働時間等の働き方、④管理職比率、⑤多様なキャリアコースの5つの基準によって評価され、達成の度合いで1~3段階の認定に分かれます。今回当社は5つすべての基準を満たしていることが評価され、最高段階の認定を取得することができました。女性をはじめ様々な立場の社員が個性や能力を十分に発揮できるよう、引き続き取り組みを推進していきます。



えるぼし認定マーク



長野労働局での認定証交付式